

第18回花瀬公園まつり駅伝大会開催 春の気配が近づく花瀬で競う

3月17日に第18回花瀬公園まつり駅伝大会が開催され、町内外から小学生から一般の部まで32チームが参加しました。今回は花瀬公園周辺1.4kmの周回コースを1人が1、2周する新しいコースに変更。桜の花が咲き始め、春の気配が近づく花瀬を走る選手たちに、沿道から声援を送る多くの住民の姿が見られました。



競技終了後には地元特産品が当たるお楽しみ抽選会の実施や飲食ブースも設置され、競技以外にも盛り上がりを見せました。

未来づくり専門員が「アリガトまつり」開催 感謝の気持ちを伝えるために企画

3月16日、堂之元公園で未来づくり専門員が地域の方から応援や見守ってもらったことに感謝の気持ちを伝えたいと「アリガトまつり」を開催しました。隊員によるトークショーやフルーツ体験などのワークショップ、活動内容や製作物の展示を実施。多くの方が訪れ隊員と交流しながら楽しんでいる姿が見られました。



ウッドデッキと花壇をつくるワークショップも行われ小中学生15名が参加。真剣な表情で作業に取り組んでいました。

錦江中の平岡弘明校長は「小さな役割でも地域や会社が必要とされる人になれるよう目指してほしい。」と卒業生を激励。



町内2中学校の卒業生が学び舎に別れ 感謝の想いを胸に次のステージへ

町内2中学校の卒業式が3月12日に行われ錦江中32名、田代中13名の卒業生が仲間とともに3年間過ごした思い出の学び舎を巣立ちました。新型コロナの影響で大きく変化した環境に対応しながら乗り越え、立派に成長した生徒たち。恩師や保護者などに見守られ、新たなステージへの第一歩を踏み出しました。

3月7日には桑原組で重機の操縦体験と椅子の組み立て、3月15日は松下工務店で椅子へのペンキ塗りを行いました。



神川小の児童が卒業記念に椅子を製作 体験を通じて地域の産業を学ぶ

神川小学校の5、6年生11名が卒業記念にオリジナルの椅子を製作しました。地域の産業を学ぶ授業の一環で、(株)桑原組と(株)松下工務店が建設に興味を持ってもらいたいとの思いから合同で協力。6年生の今熊蒼葉さんは「重機に乗れたことやみんなで椅子を作れて楽しかった。椅子は自分の部屋に飾る」と答えました。

卒業生2人は「長いようで短かった6年間。宿泊学習や修学旅行、学習発表会で挑んだ英語劇が思い出。家族や先生に感謝の気持ちでいっぱい」とお礼の言葉を述べました。



錦江町ジュニアチャレンジ事業の発表会 都会の商店街で町の魅力をPR

都市部との交流を通じ広い視野と自信を付けてもらおうと始まった錦江町ジュニアチャレンジの発表会が3月6日に池田小学校で行われました。5・6年生6名が東京の商店街イベントでの企画を考案し、児童が交流を図ってきた都会の高校生が代わりに出店。町の魅力PRや特産品販売などで商店街を盛り上げました。



5年生の小出水心音さんは「オンラインでの交流は緊張したけれど、錦江町の良いところを紹介できてよかった」と話しました。

会場では、ヒラマサやお茶などの販売やワークショップ、人気特産品が当たる抽選会も行われ、多くの来場者で賑わいました。



「第7回錦江・大崎特産品フェア」開催 特産品や地元グルメが勢ぞろい

3月17日、錦江町MIRAIサポート協同組合で第7回錦江・大崎特産品フェアが開催されました。新型コロナの影響で落ち込んだ地域経済を支援しようと始まった企画で両町から22店舗が出店。企画に携わる坂下奈津子さんは「年に1回でもイベントを行い、せっかくできた繋がりを続けたい」と意気込みを語りました。